

北丘小学校、東丘小学校、第八中学校の 学校運営のあり方の検討について

—これまでの取組みと今後—

第八中学校区では、これまで小中連携の取組みを推進してきており、すでに共通の学校教育目標を確立し、それに沿ったグランドデザインも掲げ教職員の交流なども図ってきている。今後さらに小学校、中学校が一体化した学校運営をめざし、学校教育法に基づく中学校併設型小学校、小学校併設型中学校（以下「併設型小中学校」と称する。）を令和8年4月の開校に向け、小中一貫した教育カリキュラムの確立と持続可能な教職員の体制づくりを構築するもの。

§ 併設型小中学校の運営の礎となる資料(案)

1. 基礎的な資料としての学校カルテ

A) 目的と役割

「個別最適な学び」、「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるため、カリキュラム・マネジメントの取組を一層進めるに当たり、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメントの確立」を図るため、学校規模や児童・生徒の特長・地域との関係性など校区の教職員間で学校現場の現状を容易に共有化することを目的に学校カルテを調製する。なお、本市では教育ダッシュボード、AIドリルの導入、前期課程5年生以上では放課後学習として学習塾との連携が計画されているため、主として集団的な学習指導計画の立案（カリキュラムマネジメントの確立）を主目的に取組むものとする。

B) 学校カルテの構成（案）

国や大阪府が分析している項目に下記の項目の整理をふまえ、学校区としての課題を含めた特徴の分析を行う。

① 学校規模の推移

学校規模の推移、小学校から中学校への進学率、その他児童・生徒の個性の把握など教育委員会事務局として収集する情報を一元化、整理し学校運営の基礎的な資料とする。

② 学校の現状

全国学力学習状況調査、体力・運動能力調査、大阪府が実施する中学生チャレンジテスト、小学生すくすくテストなどの結果をふまえ下記の分類ごとの整理を行い、学校の特徴分析の基礎資料とする。

イ) 学校運営の現状

全国学力学習状況調査時に学校質問事項の回答結果を暦年ごとに整理するとともに役職など職場環境を含めた教職員の配置状況の現状を整理する。

ロ) 児童生徒の現状

全国学力学習状況調査、中学生チャレンジテスト、小学生すくすくテスト時に児童・生徒に対する意識調査や国が実施する問題行動調査結果をふまえ学年ごとの推移がわかるよう整理し作成する。

ハ) 学力・体力調査の結果

全国学力学習状況調査、体力・運動能力調査、中学生チャレンジテスト、小学生すくすくテストなどの結果をふまえ教科、テーマについては正答数の分布を把握し、二極化などの把握ができるよう整理し作成する。

	1問	2問	3問	4問	5問	6問	全正答数	
109さん	○	○	○	○	○	○	6問	
110さん	○	○	○	○	○	○	6問	
111さん	○	○	○	○	○	○	6問	
112さん	○						1問	
113さん	○	○	○	○	○	○	6問	
114さん	○	○	○	○	○	○	6問	
115さん	○	○	○	○	○	○	6問	
116さん	○			○	○	○	5問	
117さん							0問	
118さん	○		○			○	4問	
119さん	○		○	○			4問	
120さん	○		○			○	3問	
集計	92人	57人	80人	85人	73人	82人	6問正解者	17人 14.2%
正答率	76.7%	47.5%	66.7%	70.8%	60.8%	68.3%	5問正解者	27人 22.5%
							4問正解者	26人 21.7%
							3問正解者	35人 29.2%
							2問正解者	11人 9.2%
							1問正解者	1人 0.8%
							0問正解者	3人 2.5%

③ 放課後子どもクラブの現状

放課後子どもクラブの加入者数は共働き世帯の実情をふまえた放課後の子どもの過ごし方などの把握につながるため、現状と暦年ごとの推移についての把握を行う。

④ 地域と学校との関係（学校コミュニティの現状）

幼保との連携、地域との協力関係、PTA 活動の状況などの学校運営協議会を含めた地域と学校との現状について整理し作成する。

2. 学習指導計画

学校教育目標、めざすべき子ども像に沿った校区における学校経営計画（グランドデザイン）を整理し、所定の時数内で教科横断的な視点も取り入れながら独自のカリキュラムの導入も視野に学習計画を構築するとともに不登校、いじめなど児童・生徒の社会的自立に向けた支援として、小中が一体となった生徒指導のあり方などの整理を行う。

A) 学習計画

教科書の単元表をもとに児童生徒の発達段階を意識しながら、教科横断の考え方や独自のカリキュラムとの関係性も含めた「つけさせたい力」を教育計画として取りまとめたものを作成する。

B) 児童生徒指導計画

問題行動のある児童生徒への対応、学ぶルール各校での統一、児童生徒理解・支援シートの小中での共有化や不登校傾向にある児童・生徒の特性の把握などをふまえ、学校の魅力度向上、安全安心など発達段階をふまえ学校としての考え方を整理したものを作成する。

3. 学校運営計画について

これまでの第八中学校区での取り組みを基に可能な限り平準化かつ共有化した学校運営計画をベースに、教職員間が交流しやすい環境を構築するとともに、コロナ禍を経て学校間で上記項目を含み持続可能な学校運営をするための連携体制を盛り込んだ計画を作成する。